

みなさん、こんにちは。1日、能面師・佐藤美旺さんが来館され、イベントが行われました。今回はその話題です。

● 能面をつけば・・・

8月1日(土)、「能面をつけてみよう！」が行われました。講師は、開催中の小さな展示会でご紹介している佐藤美旺さんです。今回は佐藤さんにお持ちいただいた3つの面のうちからお好きな面を、来館された方々につけてみていただく趣向です。

若い方から年輩の方まで参加していただき、なかには浴衣姿の方もいらっしゃいました。つける手順としては、面の左右のひもの辺りを持ち、目の位置にあうように顔に沿わせると、頭の後ろで結びます。



体験してみました！



3面のうち、1番人気は女性
の面でした

体験された方は、「感激しました！」、「予想よりは視野が開けていました」などと感想を話して喜んでいらっしゃいました。

面は、21cmで人間の顔よりは少し小さめなので両目の穴があいていますが、見えるのは片方だけなのだそうです。能は男性が舞うことが多く、体験でつけられたある女性は、ちょうどサイズが合って両方で見る事ができたという方も。

「能面をつけてみよう！」は、9日(日)午後2時から2回目を予定しています(講師は、佐藤さんのお弟子の方です)。どうぞご参加下さいね。

私も能面をつけてみました！掣(しかみ)という赤い顔の男の鬼の面です。佐藤さんのお話によると、この鬼は人助けをする良い鬼なのだそうです。つけてみると、自分の足元が見えず、おぼつきません…。これで重たい装束を身につけて1時間以上の舞台に立つのは、大変なことだと分かります。90歳を迎えておられる佐藤さんが、しゃんとされていて、声もよく出てらっしゃるのは、舞台上に立ち続けてこられたからなのだと思います。これからも、お元気で活躍いただきたいですね。